

すごいぞ邇摩高校生 ～専門分野の県大会で上位入賞を果たす～

本校は、ご存じのとおり総合学科高校で農業、ビジネス、生活、福祉、文化の5つの系列があります。そしてその特徴を活かして、それぞれの専門分野の各種大会にエントリーすることができるというメリットがあります。

今回農業系列の2、3年生の45名が、6月9日に県畜産技術センターを会場に行われた島根県農業クラブ連盟主催の家畜審査競技県大会に出場しました。この大会は、牛の目利き力を競う大会で、個人戦（ホルスタインの部・肉用牛の部）と団体戦（肉用牛の部）があります。本校からは45名全員が個人戦（肉用牛の部）にそして団体戦に2チームをエントリーしました。本校には、牛はいませんし、畜産を専門的に学ぶ科目もありません。しかし、畜産も農業分野であることからこの大会の出場にあわせ、牛についての学習を行ってきました。幸いにも本校には、動物を専門とする教員がいます。そしてさらに心強いことに今年は、昨年度まで本校の校長を務められた吉川先生に週1日講師としてきていただいています。吉川先生の専門はまさに動物です。生徒たちは、吉川先生から講義を受け、そして実際の牛を見ての研修は、県立農林大学校の協力をいただき、農大に出向いて実践練習を行いました。

大会には、4校から135名の参加がありました。団体戦は、邇摩、出雲農林、矢上からそれぞれ2チームの計6チームで競いました。団体戦は、3人1チームで、先鋒、中堅、大将が順に2問の課題に回答し、その合計点で順位を競います。大将戦が終わった段階で本校と矢上のチームが同点となり、決勝戦が行われ惜しくも2位という結果でしたが、団体戦は、細木英志さん、武田聖人さん、角田侑弥さんのチームが2位、松原稔さん、月森仁惟さん、和田龍太郎さんのチームが3位に入賞しました。

個人戦でも肉用牛の部で103名中、居石千春さん、石川鳳将さん2名が同点で3位に、その他10名のあわせて12名が上位3分の1に入り優秀賞を受賞しました。まさに快挙です。

また、6月10日に全国商業高等学校協会主催のビジネス計算競技大会の島根県予選が、出雲商業高校を会場に開催されました。珠算と電卓の2部門があり、本校からは、2年生の小島咲さんが参加しました。小島さんは、ソフトテニス部との兼部でビジネス同好会に所属しており、本格的な練習は、県総体後からでしたが、短期間で、1日3時間集中して練習に励んだそうです。そして個人総合競技第3位（2位と同点、内規により順位は3位、種目別読上暗算第1位）という好成績で、見事全国大会の切符を獲得してくれました。小島さんはまだ2年生ということで、来年度はさらに上を目指して頑張ると意気込みを語ってくれました。今年の全国大会は、新型コロナウイルスの影響で、各県開催となるそうで小島さんは少し残念そうでしたが、全国大会でも頑張ってくれると期待しています。

続く6月11日には、同じく全国商業高等学校協会主催のワープロ競技大会が松江商業高校を会場に開催されました。本校からはビジネス系列の大野快明さん、猪俣和磨さん、藤井志都輝さんの3名がエントリーしました。この大会は出題される文章を10分間で何文字入力できるか速さと正確さを競うもので、各校の上位3名の合計の成績で順位を決定する団体戦と、個人成績による個人戦があります。本校からは3名の出場でしたのでその合計点そのまま団体の成績となります。結果は団体で7校中3位に入賞し、個人戦では藤井さんが1,074文字で2位に100文字以上差をつけ、見事優勝しました。藤井さんは、8月4日に愛知県で行われる全国大会の出場権を獲得しました。全国大会でも期待が持てます。

連日の生徒たちの活躍にとっても誇らしく、嬉しく思います。いずれの大会も、専門高校の選手をpushし、上位入賞にエールを送りたいと思います。**『すごいぞ邇摩高校生』**

